

令和5年度 町政地区懇談会①(対象地区 大鍋)

■日 時 令和5年6月8日(木) 19時30分～21時5分

■会 場 大鍋公民館

■懇談会参加者 24名(うち報道 1名)

■開会～説明

(1)町長挨拶

(2)出席者紹介(副町長)

(3)予算概要説明(総務課長)

(4)重点施策説明(総務課長・企画調整課長)

■意見交換

Q1

1番目の重点事業の中に「旧南中跡地の活用について」という話があり、全部外部の方が進めるということだったが、要望事項が付け加えられるという説明もありましたので、アドバイスとして今なら要望ができるということをお願いしたい。郵便局の前、東海バスのバス停が天城線、または河津駅の方に向けて設置されているが、旧南中跡地に商業施設ができる側に、安全に乗降でき雨にも対応できる「バスポケット」の設置をあらかじめし、路上で乗り降りを行い、大勢の人が利用することが予想されるのでそのことについて話したい。

天城線の河津駅方向、もしくは上河津方向の道路を挟んで両方にバス停が設置されているが、それを皆さんが利用する建物側へ、天城線・河津駅方向は建物側でいいが、縄地や見高の方向の利用者も便利に利用できるように、2台のバスが縦列で入れるバスポケットをお願いしたいと感じました。

A(町長)

このことについては、初めて提案を受けた次第です。今の計画では旧南中跡地について、ポケットパークのような住民の方が休憩できるスペースの設置を事業者が予定しております。特にそこで歩く人の休憩スペースなんかになると思うが、そのスペースを潰しても良いのかというのが一番の問題になってくるのではないかと。もともと事業者の方も町民のためのスペースを確保したいと以前から言ってくさっています。その部分がバスのスペースとして使うのが可能なかどうか。通行量が多いのであれば、私も便利だと思いますので、ご意見の一つとして受け取ります。以上です。

(総務課長)

民設民営で動かすことになるので、このようなスペースが確保できるのかということに

ついて意見が出たということをお事業者の方に伝えたいと思いますので、よろしくお願ひします。

Q2

移住支援金など県外からの移住者に対して、何百万円とお金が出ていっている。県外から来ている人に移住支援金を出していると思うけど、それで何百万円とお金が出ていっている。(それで県外から来る人は)まるっきり考える方向が違う。年間何百万円と出して県外から人を引っ張ってきて、それだけ移住者がやってきてメリットはあるか。自分が知っている限りでは、年間所得を考えても大きく感じるほどではないと思う。もう少し中身を見た上で、移住させた方がいいと思う。

移住者が空き家に1,2件入る、子供が外に出ていったり親がいなくなったりで家が空いたらまた1,2件移住者が入る。そんな家に対して町が何百万円も出す。果たしてそれに住民が納得できるのか。どこの家庭にも子供がいればいいが、結婚してない人もいる。以前は出会いの場を設けたりしていたが、最近は聞いていない。そのような活動はしないのか。企業誘致もそうだが、子供が町へ戻ってきて親とでも一人ででも仕事をするような、意欲のある人間を戻すことも大事だと思う。そのようなことをした上で、移住者の支援を行っているのか。何も知らないで移住してきて支援をもらえるのは、考え直した方がいいと思う。

A(町長)

今の問題は重要な問題であり、難しい問題であると思っております。町の大きな問題の一つに人口減少という問題があります。人が減ることによって生活の面ですとか、交通の面、お金の面などで影響があると思っております。その中で移住支援など出来るだけ働く世代が住んでもらえるような施策を行っております。特に移住者にはいろいろな人がいることも確かだと思っております。中にはなじむ人もいれば、中にはなじまない人もいます。町としては、お試し移住体験施設などを利用し、体験をしてもらって見極めてもらうようなこともしております。最終的に決まった場合には国との支援金もあり、それを活用した制度も利用できますし、一概に誰がいいのか、誰が悪いのかは難しい問題であります。その中で現在はおとにかく人口を増やす施策を考えなければならないということがございます。一般的に人口一人について、その人の暮らす一年間に費用は130万円だそうです。人口が一人減少するごとに130万円が少なくなるという考え方で、増加すれば130万円の消費額が出るという風に言われております。130万円を観光の事業で稼ぐとなると70人くらいが必要であると。今は人口がなかなか増えないものですから、関係人口という観光に訪れてくれる人とか河津町を好きで来てくれている人を増やそうということで、特に渋谷区を中心として都市と農村の体験事業などを行いながら、関係人口を増やすことによってしばらくの間はこのような形で町を維持していこうといったこととさせていただきます。

現実的な問題として、河津町で生まれる子供の数は2.3年前までは年に30人くらいだったんですけど、しかし去年は19人でした。今年統合して河津小学校に入った1年生が、1学級28人でした。2年生以上はすべて2学級なんですけど、大変将来が心配だなというかたちでございます。このままだと5年後には、小学校のすべての学年が1学級になります。8年後には中学校のすべての学年が1学級になります。それに歯止めをかける施策ということで、関係人口や移住を増やすように、できるだけ都会にではなく田舎になじむような人が良さを感じてくれて住民と一緒に暮らせる人が来てくれればいいんですけど、なかなか判断ができないという状況があります。

もう一つは空き家バンクについての問題でございます。町の空き家バンクの登録が少ないという状況があります。実際、町の空き家バンクに登録していただくと、比較的早く契約が成立をします。いろんな事情があるでしょうけど、相談していただいて空き家バンクに登録していただきますと、利用の需要はあるのかなと思っております。そういった形で早め早めに対応することによって、空き家をずっと放置するということがなくなるといってもあります。出会いの場については町で行っていることもありますので、担当課長から説明します。

(企画調整課長)

まず移住支援金の制度について説明させていただきます。移住支援金については、全額、町の負担というわけではなく、県と国から3/4については補助を受けております。一極集中の首都圏の方から静岡県への移住を促進する制度でございます。世帯であれば増額がありますし、お子さんを連れている世帯であればさらに増額がある制度でございます。知り合いの方などで移住を考えている方がいましたら、企画調整課の方へ相談していただければと思います。

結婚支援についてでございます。お見合いをできるように登録して行う制度が県の方で用意してございます。マッチングイベント・婚活イベントについても県や町独自で行っているものもございますので、相談していただければご紹介できると思っております。結婚祝金や子育て支援の住宅支援金など金銭面の支援に関しても、町独自で支援制度を行っているところでございます。お子さんが外へ出て河津に戻ってこられるということについてですけども、県が行っている事業継承の補助金制度というものもございます。ただ、事業を引き継ぐというものは少し難しいところもあるんですけども、事業を拡大しながら事業を行うといった場合には、補助金制度や資金の貸付制度もございますので、事業に当てはまるかどうかは分かりませんが、相談していただければなと思っております。

Q3

移住者の問題について話してくれたが、このような話をよく聞く。移住支援金狙いで、(例

えば)平成4年度は静岡県に来て、平成5年度には青森県へ行くような人もいます。そういった人も存在する中で、来た理由が納得できる人も見受けられる。お金をかけるのであれば、それなりのアクションをした方がいいと思う。結婚のことについては、相談に来てくればというが、「僕、嫁欲しいんですよ。」なんて言いに来る人はいない。そのようなことが言いにくいから現状のようなことになっている。

A(企画調整課長)

移住支援金につきましては、いろいろ条件があります。移住しただけで100万円や60万円が貰えるという訳ではありません。移住をして企業に就職していただいたり、起業してもらったり、そういった条件がありますので、決して移住しただけで支払っているという訳ではないのでご理解していただければと思います。

(町長)

出会いの関係でございますけど、年に1回程度ですが、出会いの場を企画し、事業を行っています。行政になると、堅苦しくなってしまうので、東急さんと一緒になって、出会いの場の創出をやっております。県下でも、比較的、そのような点においては、河津はこれまでやってきたつもりでおります。

そういった出会いの場を求める事業を県でも昨年あたりから始めております。現実的に、出張での相談事業を県として、やることもありますので、そのような機会を利用して、県内とか河津町の出会いの場を利用していただければいいなと思っております。特に最近、結婚観が変わってきたというのがありまして、結婚しない、するのが大変だ、みたいなこともあり、河津町の最近の結婚の動向を見ていると、結婚年齢が少し高くなっています。またアンケート等を見ると、お子さんを生みたいってこともあって、本当は3人ぐらい欲しいんだけど、2人までがいっぱいだよというようなこともあります。あとは、(近年は)結婚が遅くなっているものですから、女性の場合は40歳ぐらいで年齢の問題で、なかなか子供が産めない状況もある。特に人口減少の点については、結婚というものが、大変大きな問題としてあるものですから、結婚あるいは出会いの場の部分は私どもも大事だと思っております。そして、結婚も以前と違って、情報ツールを使った出会いの場っていうことも相当進んできておりまして、そこで知り合ったって方も中にはいるという話を聞いていますので、そのようなことも活用しながら、直接会うことではなくて、その情報ツール等も使う中で、いろいろな出会いの場が創出できれば思っております。ぜひともご利用願いたいと思っております。以上です。

Q4

町の力で道路はきれいになっているけど、がけ崩れの点検を町の方でしているのか。伊豆縦

貫道の工事車両が通るので、少し道路を拡張して楽に通行できるようにすることも考えてほしい。

A(町長)

今のご意見は、大変貴重なご意見だと思っています。路線については、検討ということになっておりますので、県との関係があるわけでございますけど、当然部分的に拡張してきたいということがあります。私も、これからこの道路をいかに整備していくかとなると、やはり伊豆縦貫道の工事用道路の役割も大きいのかなと思っています。これから20kmの天城峠区間の工事の中で、大鍋地区は大きいトンネルが3本くらいできるようなことになっております。どうしても工事用道路として、私はこの道路をどうしても使えるようになるんじゃないのかなと思う。その中で、皆さんのご意見を聞きながら、なるべくこの道路を拡張といいますか、ご迷惑かけるかもしれませんが、整備してもらうことが1番のことなのかと思う。もう1つは、トンネルなのでなんとも言えないが、もし工事用道路が残すことができ、伊豆縦貫道と繋ぐ部分として使えるものなら、私は災害等を考えた時に、今後生きてくるのではという気がしますので、このままでも1本、町道として残そうということでやっておりますけど、やはり伊豆縦貫道につなぐだけではなく、災害用の万が一の時に伊豆縦貫道と繋がるというような使い方があるのではないかなと思う。ただ、それが現実的にできるかどうかは分かりませんが、もしできるならそのような使い方もあるのかなと思う。これから天城峠区間については、国と一緒に整備していただけたらと思います。

ご存知のように、伊豆縦貫道の河津地区ですとか下田地区は、全国的に見ても大変お金がかかっているところだと聞いております。大体これまでで河津-下田間は、国で100億円くらい使っている。それでも出来たのは3kmくらい。これから天城路線は20kmある。そうすると、約2000億円がかかるわけです。これからそのお金を考えると、天城峠路線についても、毎年200億円くらい突っ込まないとできないのかなって感じいたしますので、これからが正念場かなと。できるだけ早く道路を通すということを考えると、やはり予算確保というのは大変大きいなと思っています。これまでも河津-下田間については、毎年100億円くらいのお金を国の方からいただいてやってもらったわけです。そういう中で、今後はさらに皆さんにも色々ご協力いただいて、なんとか早く道路を通したいなと思っています。おかげ様で、河津-下田間の工事の関係者、町内では8か所くらい事務所を構えていただいて、そこからいろいろお店でも買い物していただいて、そのような効果をフロー効果と言いますが、だいぶ効果があり、今は工事終わったもので、工事現場が少なくなっておりますけど、一時は8か所くらい、会場内に事務所を構えたり、あるいは、泊まってくれたりとか、クリーニングやったりとか、食事をしたいってことで、そういう工事の影響もだいぶ大きいものですから、ぜひともこの天城峠路線については、3000億、4000億円かかると言われておりますけど、できるだけ早く皆さんの力を借りて、今後やっていきたいなと思

います。特に、大鍋地区の皆さんには大変お世話になるかと思えますけど、ご協力いただけたらなと思います。よろしくお願いします。

Q5

防犯についてお伺いしたいなと思っています。今、ニュースで色々立てこもり事件や殺人事件などありまして、その中で住民の人の声が、やはり今までこんな事件はなかったと、この地域でこんなことは起こったことはないというような声がよく聞かれています。私たちもあの何が起こってもおかしくないというような状況の中で、生活しているんだなって私は思っています。前回の回覧板にもありましたが、下佐ヶ野駐在所だよりで、大鍋と川津筏場でものが盗まれたというような回覧板が回ってきました。例えば、物のとりだけではなく、放火や子供の誘拐等についても同じだと思うんですけど、私はそこで、防犯カメラの設置や、街灯についても最近LEDに町の補助をいただいて交換していただいています。でも、まだまだ暗いところもたくさんあります。できればこの2点についてちょっと検討をしていただきたいと。今年度の町の施策にもありましたが、私たち町民がやっぱり安心して安全に生活を送れるように、犯罪を未然に防止することについてどのような取り組みが考えているのか、町の方でというので、お聞きしたいなと思っています。

A(町長)

ありがとうございます。確かに全国で本当にいろんな事件があって、殺人事件があったり、子供の関係もあったり、本当に簡単に命を奪われるんだなっていう感じがあって、それも親自らが子供に手をかけるような例もあって、ちょっと私どもでは考えられないような事件が起きていて、やはり社会としても関わっていかなきゃならないような状況があることも確かだなと思っています。1つは、今おっしゃったように、防犯カメラの問題があるんですけど、確かに防犯カメラは抑止力にもなっていたりとか、事件の時にはその大変有効な手段だということがございます。ただもう1つは、行政として特に問題になるのは、プライバシーの侵害というような形で言う人もいます。そういう中で、なかなかその補助を出すにしても、公的な場所ではできるんですけど、なかなか個人についてはこう難しいものもあるのかなということで、もう少し研究したいなということもあります。そんなことで、これらについてはもう少し時間が欲しいなと思っています。それから街灯の関係でございますけど、町では他の町よりも先に防犯等については補助をしております。設置についても町が補助しておりますので、もし希望があれば区の方から申請をしていただいて、一部負担が区の方で生じますけど、その後の費用についても、町の補助がございますので、是非ともご利用していただきたいと思っています。特に最近はLEDの電気も発達して故障も少なくなって、設置する電柱も昔ほどしっかりしたものではなくても、比較的、LEDだと軽いので、昔とイメージが若干違うところもあります。意外と小さくても明るいということもありますの

で、ぜひとも町の補助事業を使っていただければと思います。そういうことでお願いしたい
と思います。

Q6

バガテル公園の施設の方にちょっと伺いたい ですけど、オレンジェリーを町民はただで借
りられたという風に聞いているんですけども、今後、街の管轄ではなくなるということで、
料金も変わりました。オレンジェリーを借りる場合、町民でもレンタル料が発生するのかど
うか、今まで通りにするのか、お願いします。

A(企画調整課長)

オレンジェリーの利用についてなんですが、オレンジェリーの利用については、原則、町民
については、町が支払うものですから、民間事業者の方で、例えば展示のイベントをやって
みるとか、そういったところで支障が出なければお使いいただいて結構です。

町外の方についても、町民利用料の負担金というような形で、お支払いをいただければ、空
いている時期につきましては、ぜひ利用していただければと思います。

Q7

(オレンジェリーの)申し込みは役場か、バガテル公園か。

A(企画調整課長)

バガテル公園の方に相談してもらえばと思います。

Q8

最後になるかと思いますが、よろしく申し上げます。今日の説明会の中のことは全く関
係ないことですが、お聞きします。先日、5月30日に下田文化会会館におきまして、あの
伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収に関する説明会というのがございました。多数の方の
いろんな意見があった中で、誰1人としてこの徴収に関して賛成だよという意見は1人も
ありませんでした。なおかつ県の方の説明も、最初から徴収ありきの説明でして、結論も出
ないまま時間切れで説明会が終わったところでございます。今後、このことに関して、今年
の10月2日が今の料金所の期限だと聞いておりますけども、その後料金徴収になるんだろ
うなと思っはいますけども、どのようになるのか、県の方から話を町として聞いているの
か、その辺を1つお聞きしたい。あと徴収するについてもこの間の説明会ですと、今やっ
ている最大50%引きの割引券と、ETCXという一旦停止をして通過する料金徴収の機械を
使っているんですけど、これがこの間の説明だと、まだ決定ではないんですけど、割引券も今

以上である(例として80%割引という話が出た)、またETCのレーンも作るという予定であるという話でしたけども、料金を徴収すること前提なんだなという考え方をしたんですけど、その辺のところは県から町に対し報告というか、何かあったのかを1つお聞きしたい。また今後のことがどうなるか、もし分かるようでしたらお聞きしたいと思います。

A(町長)

6月30日の説明会については行かなかったんですけど、県の道路局長から今年の3月に説明を受けております。それから、郡の賀茂地区の下田市を除いた賀茂郡の町長会というのがございまして、その中でもまとめて集まったものですから、そこで説明を受けております。

結論から言いますと、この問題は県が決めることとございます。ただ意見としては、町は色々言うことはできると思います。今の予定ですと、6月の県議会にこれをあげて、それから国に上申をして、10月から有料化を図りたいというのが県の趣旨とございます。

私が受けた中では、道路の関係で維持補修費なんかを賄う、大変な時代になってきているそうです。今、高速道路はプール制として、高速道路を維持したり、作ったりするのに、全体を儲かっているところと作ったりする費用を賄うのに、プールをして作るという方向に変わっているそうです。先ほど申しましたけど、補修費がかかっている、それが1.7倍ぐらい今、各道路がかかっているそうです。それを賄うために、どうしてもプール制にしなきゃならないということも、地方ではあるようです。

実際、今度の伊豆地方については、県の道路公社というところが、管理をしております。県の外郭団体と言っていいのかな。あそこは今やっているわけとございますけど、そこを有料化しているわけですけど、県の考え方としては、今後のいろんな道路維持、あるいは道路を進行するために、今の料金徴収を延長して、その費用を賄いたいなと申しているのが県の主張です。

確かにそれもあるんですけど、私の希望としては、県がその料金徴収を延長することによって、伊豆縦貫道のアクセス道路をもっと整備してほしい、それを特に言っております。特に河津町は、県が施行する予定としては落合縄地線だとか、中央道というか浜峰線とか、その辺りが今後、県がやる事業として出てくると思いますので、県がそういう予算を使って、そっちの方に回してくれたらなと思っております。県は今、事業としては、静浦バイパスというのは、静浦を通らないでトンネルを作ってやっておりますけど、トンネルも相当長い期間がかかっている、なかなか国と違って進み方が遅いんですね。それを思うと、やはりあの基本的な財源というのは必要なかなと。河津町にとっては、伊豆縦貫道を絡めたアクセス道路をなんとか早く、伊豆縦貫道もそうですけど、やってほしいなと思っております。

それからもう1つは、今ある国道414、413の整備ももう少ししてほしいな。特にあの雨が降ると止まるような道路というのは、なかなか通行に不安がございまして、これから伊豆循環道ができると、多分そちらに車が集中をして、一般道も通行量は少なくなるんですけど、

その代替として町は、自転車とかの利用も図れるんじゃないかなと思いますので、今の状態ですと、国道 414 にしても 413 にしても自転車を通るような、危険性を感じるような部分もありますし、部分的にはだいぶ草が被っていたりということもありますのでね。そのような整備についてもお金を使ってほしいなと思いますし、そういう意味で私としては、個人的な意見になりますけど、料金徴収はやむを得ないのかなと。ただ、先ほどおっしゃったように、今不便を感じている ETC ですとか、あるいは割引制度についても、これ以上にメリットを示してくれないと、町民は納得しない と思いますんで、そういう点では、目に見える形で料金を徴収するという形で、示してくればですね、私としては、徴収について 致し方ないのかなという思いがありますんで、そんなことを県の道路局長にお話をしたところでございます。以上です。

(町民)

ありがとうございます。この間も、今町長が言われたような意見というか、この間の話ですと、このあと 40 年、料金徴収をしたいという話でした。「何を言ってるんだ」という意見が多かったわけで、伊豆縦貫道の月ヶ瀬インターが開通した当時、菊池市長はあの席で、「もう少し待ってください、もうじき高くなりますから」と言ったこともあったんですよ。それはやっぱりみんな覚えていて、「何を言ってるんだ」って、「約束が違うじゃないか」と、「今までもう 2 回もあの料金徴収をやってるんだ」と、「もうやめろ」っていう、意見がすごく多くて、それに合わせて先ほど言った、静浦の方から回る道路、3 月から一部開通しましたけど、あの道路を延長して、今の長岡北インターへ持ってくるそうですが、そこへ伊豆中央道と修善寺道路で、とった方がいいよ、そっち使うつもりでいるんだらうとか、そういったことまでも言う人もいて、いろんな勉強してきている人がたくさんいました。県の方も、もう答えるのに困るくらいのことを言っていたんですけども、時間がなくて、8 時半で終わらせてくれてやつを 8 時 40 分ぐらいまでかかってやっても、時間が来たので、ここで終わらせてくださいということで、終わってしまったもんですから、我々としても何の話を聞きに来たんだっていうことを言ってる人がいて、結論も出ないのは終わったというのが、本当のことだったものですから、町として、もし意見を言えるようであるならば、料金徴収するのは仕方ないことだろうと思うんですけども、できるだけ地元の人を優遇してもらうように、割引なり何なりを極力していただいて、よそから来る人からたっぷり取ってもらえば、いいと思うんですけど、そういったような意見があるということをぜひ伝えていただきたい と思いますので、よろしく願いいたします。